

ス イ ス

Swiss Confederation

	2016年	2017年	2018年
①人口：854万人（2018年末暫定）			
②面積：4万1,285km ²			
③1人あたりGDP：8万2,950米ドル (2018年)			
④実質GDP成長率（%）	1.6	1.7	2.5
⑤消費者物価上昇率（%）	△0.4	0.5	0.9
⑥失業率（%）	3.3	3.2	2.6
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	32,271	29,322	31,375
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	62,309	44,659	70,573
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	640,594	767,680	744,167
⑩対外債務残高（グロス） （100万スイス・フラン）	1,780,924	1,872,914	1,827,386
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	0.985	0.985	0.978

〔注〕⑦：通関ベース
〔出所〕①②⑤：スイス連邦統計局、③⑨⑪：IMF、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦：連邦関税局、⑧⑩：スイス国立銀行

2018年のスイス経済は、欧州経済の好況を反映し好調だった外需に支えられ、実質GDP成長率は2.5%となった。貿易は、輸出入ともに堅調な伸び率を示し過去最高を記録した。2017年の対内直接投資は383億5,200万スイス・フラン（CHF）、対外投資は339億6,900万CHFの引き揚げ超過となった。

■ 順調な経済成長、雇用状況も改善

2018年の実質GDP成長率は2.5%で、1.3%を記録した2015年以降、年々上昇し、4年ぶりに2%台となった。需要項目別にみると、最も成長に寄与したのは純輸出（外需）で、寄与度は2.3ポイントとなった。内需の寄与度は0.2ポイントで、最終消費支出が0.7ポイント寄与したが、純資本形成がマイナス0.5ポイントとなったことによる。

好調な経済を反映して労働市場も特に上半期に急激に改善し（人数ベースでも4万3,000人以上）、失業率は2017年（3.2%）に続き、2.6%に低下した。スイス連邦経済省経済事務局（SECO）は2019年6月に、米中貿易摩擦や欧州経済の不確実性（英国のEU離脱、イタリア経済など）をリスク要因として挙げ、減速する世界経済がスイスの貿易に影響しつつあるとして、2019年の実質GDP成長を前年比1.3ポイント減の1.2%と予測した。

■ 輸出入は過去最高額を記録

2018年の貿易は、輸出が前年比5.7%増の2,332億2,400万CHF、輸入が8.7%増の2,018億4,900万CHFで、輸出入ともに過去最高額を記録した。貿易収支は313億7,500万CHFの黒字となった。

輸出を品目別にみると、輸送用機器（構成比2.2%）を除いてほぼ全ての品目において前年比プラスとなった。最大の輸出品目である化学品・医薬品関連品（44.8%）は前年比5.9%増で、全体の伸び率5.7%を上回った。米国とスペイン向けの医薬品輸出が大きく増えたことが寄与した。輸出額が次に大きい精密機械・時計・宝飾品（21.3%）は6.2%増であった。時計大手スウォッチグループは、アジアや米国市場での販売好調により2018年上半期の純利益が前年同期比66.5%増と最高額を記録したと発表した。他方、英国向けの時計（5.8%）は4.4%減となった。

しかしながら、スイス時計協会によれば、2019年第1四半期の英国向けの時計輸出は前年同期比76.4%増と大きく伸びた。これは、EU離脱に備えた在庫積み増し需要とみられる。

輸出を国・地域別にみると、EU（52.1%）の伸び率は前年比3.9%増にとどまったが、最大輸出先のドイツ（18.8%）は産業用機械が6.8%増と前年の0.8%増から大きく伸び、5.5%増となった。他方、英国（4.0%）は鉱物の急減により17.8%減と大きく落ち込んだ。

第2位の輸出先である米国（構成比16.3%）が化学品・医薬品関連の伸びにより前年比12.4%増と

表1 スイスの需要項目別実質GDP成長率

(単位：%)

	2017年	2018年				2019年 Q1	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.7	2.5	0.8	0.7	△0.2	0.3	0.6
民間最終消費支出	1.2	1.0	0.4	0.2	0.1	0.3	0.4
政府最終消費支出	0.9	1.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.3
国内総固定資本形成	3.4	2.1	1.0	0.5	△1.2	△0.1	1.1
財貨・サービスの輸出	△0.1	2.3	0.3	△0.7	0.3	△2.1	0.1
財貨・サービスの輸入	△0.7	△1.5	△0.4	0.6	3.4	△6.6	△2.6

〔注〕 四半期の伸び率は前期比（季節調整値）。財貨の輸出は、非貨幣金、貴重品、トランジット貿易品を含む。財貨の輸入は、非貨幣金、貴重品を含む。

〔出所〕 スイス連邦経済省経済事務局

表2 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品・医薬品	98,596	104,372	44.8	5.9	46,741	50,159	24.8	7.3
医薬品	83,890	88,340	37.9	5.3	35,281	36,733	18.2	4.1
精密機械・時計・宝飾品	46,751	49,640	21.3	6.2	23,244	28,401	14.1	22.2
時計	19,921	21,180	9.1	6.3	3,545	4,007	2.0	13.0
精密機械	15,646	16,806	7.2	7.4	7,706	8,233	4.1	6.8
宝飾品・貴金属製品	11,184	11,654	5.0	4.2	11,993	16,160	8.0	34.8
機械および電気・電子機器	32,054	33,520	14.4	4.6	30,393	32,079	15.9	5.5
産業用機械	19,094	19,929	8.5	4.4	12,042	12,648	6.3	5.0
電気・電子機器	10,871	11,373	4.9	4.6	11,223	11,893	5.9	6.0
金属製品	13,645	14,402	6.2	5.5	14,481	15,907	7.9	9.8
農林水産物	9,650	10,029	4.3	3.9	14,338	14,823	7.3	3.4
食品・飲料・たばこ	8,682	8,980	3.9	3.4	10,590	10,862	5.4	2.6
輸送用機器	5,422	5,020	2.2	△7.4	19,003	19,299	9.6	1.6
繊維・衣料製品	4,200	4,863	2.1	15.8	10,550	11,662	5.8	10.5
燃料・エネルギー	2,055	2,818	1.2	37.1	8,127	9,472	4.7	16.6
電力	1,502	2,068	0.9	37.7	1,719	1,789	0.9	4.1
原油・石油製品	537	729	0.3	35.8	5,402	6,492	3.2	20.2
合計 (その他含む)	220,582	233,224	100	5.7	185,774	201,849	100	8.7

〔注〕 貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なものは含まない)。

〔出所〕 スイス連邦財務省関税局

表3 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	116,917	121,435	52.1	3.9	132,639	141,808	70.3	6.9
ユーロ圏	96,753	102,400	43.9	5.8	117,748	124,499	61.7	5.7
ドイツ	41,616	43,923	18.8	5.5	52,328	54,671	27.1	4.5
フランス	14,014	15,212	6.5	8.5	14,738	16,209	8.0	10.0
イタリア	13,762	14,363	6.2	4.4	18,006	18,767	9.3	4.2
ベルギー	4,130	4,150	1.8	0.5	3,323	3,295	1.6	△0.9
非ユーロ圏	20,163	19,034	8.2	△5.6	14,891	17,309	8.6	16.2
英国	11,384	9,359	4.0	△17.8	6,087	7,742	3.8	27.2
アジア大洋州	40,725	43,177	18.5	6.0	27,091	29,467	14.5	8.8
ASEAN	7,596	7,804	3.3	2.7	5,627	6,393	3.2	13.6
中国	11,403	12,180	5.2	6.8	12,995	14,242	7.1	9.6
日本	7,326	7,643	3.3	4.3	3,593	3,395	1.7	△5.5
香港	5,345	5,944	2.5	11.2	1,193	1,198	0.6	0.4
韓国	3,062	3,198	1.4	4.4	710	757	0.4	6.7
インド	1,646	1,728	0.7	5.0	1,456	1,677	0.8	15.2
米国	33,768	37,939	16.3	12.4	12,692	12,563	6.2	△1.0
カナダ	3,505	3,673	1.6	4.8	1,305	1,586	0.8	21.5
ロシア	2,241	2,509	1.1	12.0	208	289	0.1	38.8
ブラジル	2,221	2,617	1.1	17.8	572	582	0.3	1.9
メキシコ	1,367	1,449	0.6	6.0	963	685	0.3	△28.8
合計 (その他含む)	220,582	233,224	100.0	5.7	185,774	201,849	100.0	8.7

〔注〕 アジア大洋州は、ASEAN + 6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。

〔出所〕 スイス連邦財務省関税局

好調であった。アジアでは、香港 (2.5%) が11.2%増と好調で、日本 (3.3%) は機械および電気・電子機器が伸び、ほぼ横ばいだった2017年から回復し、4.3%増となった。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目の化学品・医薬品 (構成比24.8%) が前年比7.3%増、輸出額が次に大きい機械および電気・電子機器 (15.9%) が5.5%増であっ

た。精密機械・時計・宝飾品 (14.1%) は22.2%増となったが、これは、アラブ首長国連邦からの主に精錬用金の大量輸入により、宝飾品・貴金属製品 (8.0%) が34.8%増と大幅増になったことによる。原油等資源価格の高騰により、燃料・エネルギー (4.7%) も16.6%増、繊維・衣料製品 (5.8%) は10.5%増加したが (輸出は15.8%増)、これは外国の衣料通販サイトへの注文および返品増加が輸出を押し上げていることによる。

輸入を国・地域別にみると、EU (構成比70.3%) から前年比6.9%増となり、うちフランス (8.0%) はエネルギーやレアメタルを中心に10.0%伸びた。輸出を減らした英国 (3.8%) も、輸入では鉱物や精密機械・医療機器を中心に27.2%伸びた。他に伸び率が高かったのはロシア (0.1%) の38.8%増、カナダ (0.8%) の21.5%増、インド (0.8%) の15.2%増であった。

■ 通商政策はEUと同等の条件実現を重視

2018年末にスイスが直面した最大の通商課題はEUとの間の制度的条約 (Institutional Agreement) の締結であった。この条約は、EUに加盟することなくEU市場への自由なアクセスを各種協定により確保してきたスイスに対し、随時改正されていくEU法令がスイス国内法にも迅速に適用されるようにするための制度見直しや、スイス・EU間の紛争処理手続きの導入を求めるもので、2014年から交渉が続いている。スイス証券取引市場においてEU企業が

株式の取引を行うために必要な、市場の同等性認定が2018年末で期限切れを迎えたことから、2018年12月中旬に、スイスはその更新を契機に制度的条約案を公開し公開コンサルテーションの開始を発表した。このようなスイスの国内手続きを尊重するEUにより、同認定は2019年6月末まで延長されたが失効した。その結果、EU企業株式のスイス証券取引所での取引が行えなくなったが、

表4 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

(単位：%)

FTA		発効日	スイスの貿易に占める構成比 (2018年)		
			往復	輸出	輸入
発効済み	EU	1973年1月	60.5	52.1	70.3
	中国	2014年7月	6.1	5.2	7.1
	日本	2009年9月	2.5	3.3	1.7
	湾岸協力会議 (GCC) 諸国	2014年7月	3.1	2.6	3.6
	香港	2012年10月	1.6	2.5	0.6
	シンガポール	2003年1月	1.6	1.9	1.3
	カナダ	2009年7月	1.2	1.6	0.8
	韓国	2006年9月	0.9	1.4	0.4
	トルコ	1992年4月	0.8	0.8	0.7
	メキシコ	2001年7月	0.5	0.6	0.3
	EFTA (注①)	1960年5月	0.3	0.3	0.2
合計 (注②)		—	79.1	72.4	86.8
署名済み	エクアドル	署名日 2018年6月	0.0	0.0	0.0
	インドネシア	署名日 2018年12月	0.2	0.2	0.2
交渉中	南米南部共同市場 (メルコスール) (注③)	—	1.0	1.6	0.4
	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	—	0.9	1.2	0.5
	インド	—	0.8	0.7	0.8
	タイ	—	0.5	0.5	0.5
	ベトナム	—	0.5	0.3	0.7
	マレーシア	—	0.3	0.3	0.3
	アルジェリア	—	0.1	0.2	0.0
FTAカバー率 (交渉中も含む)			83.4	77.4	90.2

[注] ① EFTA: ノルウェー、アイスランドのみ計上 (リヒテンシュタインを含まない)。

② 発効済みの合計値は、表に記載以外のFTA発効済み以下21カ国・地域も含めた合計。イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ、モロッコ、北マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟 (SACU: ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、エスワティニ (旧スワジランド))、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米諸国 (パナマ、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス)、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、フィリピン (協定締結順)。

③ 南米南部共同市場は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ。

[出所] スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覽」。スイス連邦財務省関税局貿易統計

表5 スイスの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、フロー＞

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2016年	2017年	2016年	2017年
	金額	金額	金額	金額
製造業	4,186	59,317	28,638	△8,141
電子・工学・時計等	2,455	1,924	8,868	2,886
金属・機械	162	1,376	2,895	4,212
化学・プラスチック	848	53,503	8,202	△12,202
その他産業・建設	722	2,514	6,974	△4,165
繊維・アパレル	n.a.	n.a.	1,700	1,128
サービス	55,330	△20,965	57,830	△25,827
商業	11,341	1,807	14,874	△15,682
運輸・通信	1,932	△620	455	581
保険	1,143	3,238	20,103	2,232
銀行	△1,260	△769	2,103	△1,696
金融持株会社	39,559	△30,199	13,096	△17,674
その他サービス	2,614	5,577	7,199	6,411
合計 (その他含む)	59,516	38,352	86,468	△33,969

[注] ① 2018年の業種別内訳は2019年8月時点で未発表。

② n.a. は非公表。

[出所] スイス国立銀行

スイスはその保障措置として7月1日からスイス企業株式のEU域内市場での取引を禁止した。スイス証券取引所で、EU企業株式の代わりに、これまでEU内で取引されていた分のスイス企業株式が追加されることになり、今のところスイスの証券取引市場における大きな混乱は見られない。スイス政府としては、10月のEU側政権交代とスイス側総選挙の結果を待って、EUと協定案の再交渉を含めた協議を本格化させるとみられる。

EU離脱に揺れる英国とは、スイスはEU加盟時と同等の通商関係を維持するための戦略、「マインド・ザ・ギャップ」を2016年10月に承認。以来英国と協議した結果、EUとのFTAで決めていた内容等を含む5分野 (航空輸送、保険、自動車貨物、貿易、市民の権利) をEU離脱後もカバーする独自の諸協定を2018年12月から2019年2月の間に英国と締結した。

■ 医薬品企業の対米投資が目立つ

スイス国立銀行によると、2017年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) は、383億5,200万CHFとなった。サービス業では親会社による海外での活動の縮小や子会社の整理により209億6,500万CHFの引き揚げ超過となったが、製造業では主に化学・プラスチック分野への投資に牽引され過去最高の593億1,700万CHFを記録した。

2017年の対外直接投資は339億6,900万CHFの引き揚げ超過となった。製造業では化学・プラスチック分野の企業が海外子会社から資金を引き揚げスイス国内での買収資金調達に回す動きが活発で81億4,100万CHFの引き揚げ超過となった。サービス業でも、金融持株会社による海外でのグループ間融資の削減や、事業会社による子会社の売却に起因して258億2,700万CHFの引き揚げ超過となった。

スイス国立銀行による2018年の直接投資統計は2019年8月時点で未発表だが、世界銀行によると、対内直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー) は2017年の378億6,400万ドルから2018年は676億7,700万ドルの引き揚げ超過に転じ、対外直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) も2017年の178億400万ドルの引き揚げ超過から472億400万ドルに転じた。経済誌「ハイデルツァイトゥング」のM&A特集 (2019年1月31日付) によると、2018年前半は好景気に支えられ投資が活発に行われたが、後半は米中貿易摩擦による市場の先行き不確実性などに

表6 スイスの国・地域別対内・対外直接投資
 <国際収支ベース、フロー>

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2016年	2017年	2016年	2017年
	金額	金額	金額	金額
EU	43,117	△9,260	67,478	△52,500
ルクセンブルク	7,514	△13,476	8,506	△5,569
オーストリア	△15,660	△1,445	257	△258
ドイツ	3,188	978	7,205	6,119
フランス	△2,885	442	2,900	△1,387
オランダ	49,250	23,985	26,692	9,084
英国	6,221	△25,916	13,318	△15,386
イタリア	530	△95	826	845
ロシア	n.a.	n.a.	1,595	1,100
米国	13,309	14,101	37,999	11,901
中南米 (オフショア地域含む)	△174	27,056	△21,951	△4,031
ブラジル	n.a.	n.a.	36	109
メキシコ	n.a.	n.a.	852	690
アジア・大洋州・アフリカ	832	△611	△488	8,452
日本	△435	△2,057	2,263	4,490
シンガポール	n.a.	n.a.	△2,474	△1,399
中国 (香港含まず)	n.a.	n.a.	1,482	3,134
インド	n.a.	n.a.	160	1,054
アラブ首長国連邦	n.a.	n.a.	△3,804	△494
合計 (その他含む)	59,516	38,352	86,468	△33,969

[注] ①2018年の国・地域別内訳は2019年8月時点で未発表。

②n.a.は未公表。

[出所] スイス国立銀行

より減少した。

2018年のスイスへの対内直接投資案件をみると、最大案件は、英国の製薬企業グラクソ・スミスクラインが3月に、同業ノバルティスとのヘルスケア関連の合弁子会社のノバルティス保有分の株式36.5%を130億ドルで購入し完全な経営権を握った案件だった。この他、英領バミューダ諸島バカルディが4月、テキーラ・ブランドを保有するパトロン・スピリッツ・インターナショナルの全株式を買収し、急成長中のテキーラ市場に参入した。

2018年のスイス企業による対外投資案件をみると、医薬品、食品、化学・建設・資源、アパレルなどの幅広い分野で活発に行われた。最大案件となったのは製薬会社ノバルティスが5月に、米国の同業アベクシスを87億ドルで買収した案件で、これにより同社は臨床実験段階にあるアベクシスの遺伝子治療プラットフォームを獲得した。この他、ネスレによる8月の米スターバックス商品の世界販売権の取得、医薬品分野ではノバルティスが12月に米国エンドサイトを21億ドルで買収した案件や、ロシュが4月に米国フラットアイアン・ヘルスを19億ドルで買収した案件もあり、米国は最大の海外投資先となった。

表7 スイスの主な対内直接投資案件 (2018年)

<M&A>

業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
医薬品	ノバルティス	グラクソ・スミスクライン	英国		2018年3月	130億ドル	グラクソ・スミスクラインは、ノバルティスとのヘルスケア関連の合弁子会社の株式36.5%を130億ドルで購入し、完全な経営権を握ることで合意したと発表。ノバルティスはこの売却によりコア事業の発展と成長に注力。
重電	ABB	日立製作所	日本		2018年12月	64億ドル	日立製作所はABBのパワーグリッド事業の買収に関する契約を締結。エネルギーソリューション事業の強化を図る。2020年前半までに同事業の株式80.1%を取得、その後、完全子会社化を目指す。
食料品	パトロン・スピリッツ・インターナショナル	バカルディ	英領バミューダ諸島		2018年4月	非公表	ラム酒など酒類の製造・販売を手掛けるバカルディは、テキーラ・ブランドを保有するパトロン・スピリッツ・インターナショナルの全株式を買収し、急成長中のテキーラ市場に参入。
食料品	ネスレ	フェレロ	イタリア		2018年1月	28億ドル	成長事業に注力する為に事業見直しを進めるネスレは、米国の製薬事業をイタリアの製薬大手フェレロに売却すると発表。フェレロは北米市場での収益拡大を狙う。
電子決済	SIX ペイメント・サービス	ワールドライン	フランス		2018年5月	23億300万ドル	仏IT (情報技術) コンサルティング大手アトスの電子決済子会社ワールドラインは、スイス証券取引所を運営するSIXグループの決済部門SIXペイメント・サービスを買収すると発表。収益の拡大と欧州における地位強化を狙う。
生命保険	ガーバー生命保険 (ネスレ子会社)	ウエスタン&サウザン・フィナンシャル・グループ	米国		2018年9月	15億5,000万ドル	ネスレは、2007年に買収したベビーフードメーカーの米ガーバーの生命保険事業を、米保険会社ウエスタン&サウザン・フィナンシャル・グループに売却することで合意。
セメント	ラファージュホルシム、インドネシア事業ホルシム・インドネシア	セメン・インドネシア	インドネシア		2018年11月	非公表	インドネシアのセメント最大手、国営セメン・インドネシアは、世界最大手のスイス同業ラファージュホルシムのインドネシア事業ホルシム・インドネシアの株式80.6%の取得を発表。市場拡大を狙う。
再保険	東京ミレニアム・リー	ルネサンス・リー・ホールディングス	英領バミューダ諸島		2018年10月	非公表	東京海上ホールディングスは、傘下の東京ミレニアム・リーを大手再保険会社ルネサンス・リー・ホールディングスに売却することを発表。元受保険事業に注力し、ルネサンス・リーとの関係強化を図る。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表8 スイスの主な対外直接投資案件（2018年）

<M&A以外>

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
海運・物流	Mediterranean Shipping Company (MSC)	UAE	2018年5月	10億ドル強	MSCはアブダビ港との間で、ハリファ港でのコンテナターミナル開発のための30年の合併事業・コンセッション契約を締結。

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
ノバルティス	医薬品	アベクシス	米国	2018年5月	87億ドル	遺伝子治療に関する臨床試験を実施中のアベクシスを買収。がん治療に加えて、遺伝子治療のパイプラインを強化。
トランスオーシャン	石油・ガス	オーシャン・リグUDW	キプロス	2018年12月	27億ドル	同業オーシャン・リグUDWを買収。超深海掘削船9隻、半潜水型リグ2基、さらに建設中2隻を獲得し、超深海市場での足場を強化。
ノバルティス	医薬品	エンドサイト	米国	2018年12月	21億ドル	がん治療薬を手掛ける米同業エンドサイトを買収。放射線医薬品の事業を強化する狙い。
ロシュ	医薬品	フラットアイアン・ヘルス	米国	2018年4月	19億ドル	がんデータ解析ソフトなど手がけるフラットアイアン・ヘルスを買収。業界全体の開発とがん患者向けの画期的な医薬品の提供を加速。
グレンコア	資源	リオ・ティント	豪州	2018年3月	17億ドル	石炭事業からの撤退を表明していたリオ・ティントから、豪クイーンズランド州ヘルククリーク炭鉱の権益82%およびヴァレリア炭鉱の権益71.2%を取得。
ネスレ	食品	スターバックス	米国	2018年8月	非公表	スターバックス商品の同社店舗以外での世界販売権を取得。北米市場を拡大する狙い。
フィナンシエール・リシュモン	アパレル	ユークス・ネットポルテ・グループ	イタリア	2018年1月	非公表	オンラインで高級品販売を手掛けるイタリアのユークス・ネットポルテを完全子会社化し、経営権を握ると発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

M&A以外では、海運・物流企業であるMSCが2018年5月にアブダビ港との間で、ハリファ港でのコンテナターミナル開発のための30年の合併事業契約およびコンセッション契約（約10億ドル）を締結した。

■対日貿易黒字は拡大、投資は引き揚げ超過に

2018年の対日貿易は、輸出が前年比4.3%増の76億4,300万CHF、輸入が5.5%減の33億9,500万CHFとなった。貿易黒字は前年より5億1,500万CHF増加し42億4,800万CHFとなった。

主な対日輸出品目をみると、最大品目である医薬品（構成比43.4%）は前年比0.3%増であった。次に輸出額が大きい腕時計（16.6%）は9.2%増と堅調に伸びた。続く宝飾品（7.1%）が14.8%減となった一方、電気・電子機器（2.6%）は68.5%増と大きく伸びた。

輸出品目をみると、最大品目である医薬品（構成比18.6%）が前年比8.4%減で

あった。続く乗用車（17.6%）は0.6%増と横ばいだったが、宝飾品（9.5%）が45.9%減、医療機器（1.6%）が10.8%減と大きく減少した。そのほか、化学原材料（5.2%）が21.7%増、建設機械（2.4%）が22.7%増と伸びた。

スイスと日本は2009年9月に「日本・スイス自由貿易経済連携協定（JSFTEPA）」を発効させている。同協定は、往復貿易額の99%以上を占める物品の関税撤廃に加え、サービス貿易、投資、知的財産権保護などもカバー。日本の経済連携協定（EPA）としては初めて、認定輸出者による原産地申告制度を導入し電子商取引に関する章

表9 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万CHF、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	3,306	3,316	43.4	0.3	689	631	18.6	△8.4
腕時計	1,161	1,268	16.6	9.2	595	599	17.6	0.6
宝飾品	638	543	7.1	△14.8	595	322	9.5	△45.9
医療機器	441	457	6.0	3.6	286	300	8.8	5.0
一般機械	332	372	4.9	12.1	187	211	6.2	12.6
電気・電子機器	119	200	2.6	68.5	144	176	5.2	21.7
たばこ	160	185	2.4	15.4	117	117	3.4	0.0
化学原材料	134	148	1.9	10.5	66	81	2.4	22.7
検査・計測機器	134	142	1.9	5.8	56	58	1.7	4.3
金属部品	123	111	1.4	△9.8	49	58	1.7	19.1
飲料	107	110	1.4	2.9	62	56	1.6	△10.8
合計（その他含む）	7,326	7,643	100	4.3	3,593	3,395	100	△5.5

〔出所〕スイス連邦財務省関税局

を設けるなど先進的な内容であった。しかし、2019年2月に発効した日EU・EPAの関税撤廃率がより高いことから、JSFTEPAの競争力の相対的低下を懸念するスイス連邦政府は、協定内容の見直しを日本側に要求している。

財務省の国際収支統計によると、2018年の日本のスイスへの直接投資は、金融・保険業における894億円の引き揚げが寄与し、335億円の引き揚げ超過となった。日本のスイスからの直接投資受け入れ額は、卸売・小売業における3,534億円の引き揚げ超過が大きく影響し、2,386億円の引き揚げ超過となった。

日本企業の2018年のスイスへの個別投資案件としては、日立製作所が12月にABBの電力網事業を64億ドルで買収した案件が過去最大案件となった。そのほか、大日本印刷が4月に飲料・食品向け紙容器メーカーSIG コンビブ

ロックと合併会社を設立した案件、資金管理会社ヤマセホールディングスが2月に仮想通貨での資金調達ICO支援サービス機関を設立した案件があった。また、キヤノンによるチューリッヒ近郊のカスタマー・エクスペリエンス・センターの設立など、多岐の業種にわたった。

2018年のスイス企業の対日投資案件としては、機器・素材メーカー、シュワイター・テクノロジーズが2018年9月に三菱ケミカルの欧州アクリル樹脂シート事業を185億円で取得した案件があった。

投資案件以外の2018年の日本スイス企業間連携プロジェクトとしては、武田薬品が2018年4月にスイスDNDiと内臓リーシュマニア症の治療薬を共同開発することで合意した案件や、川崎重工によるABBとの協働ロボットオペレーティング・インターフェースの開発があった。